



特273
540

陸北
旅
行
案
内

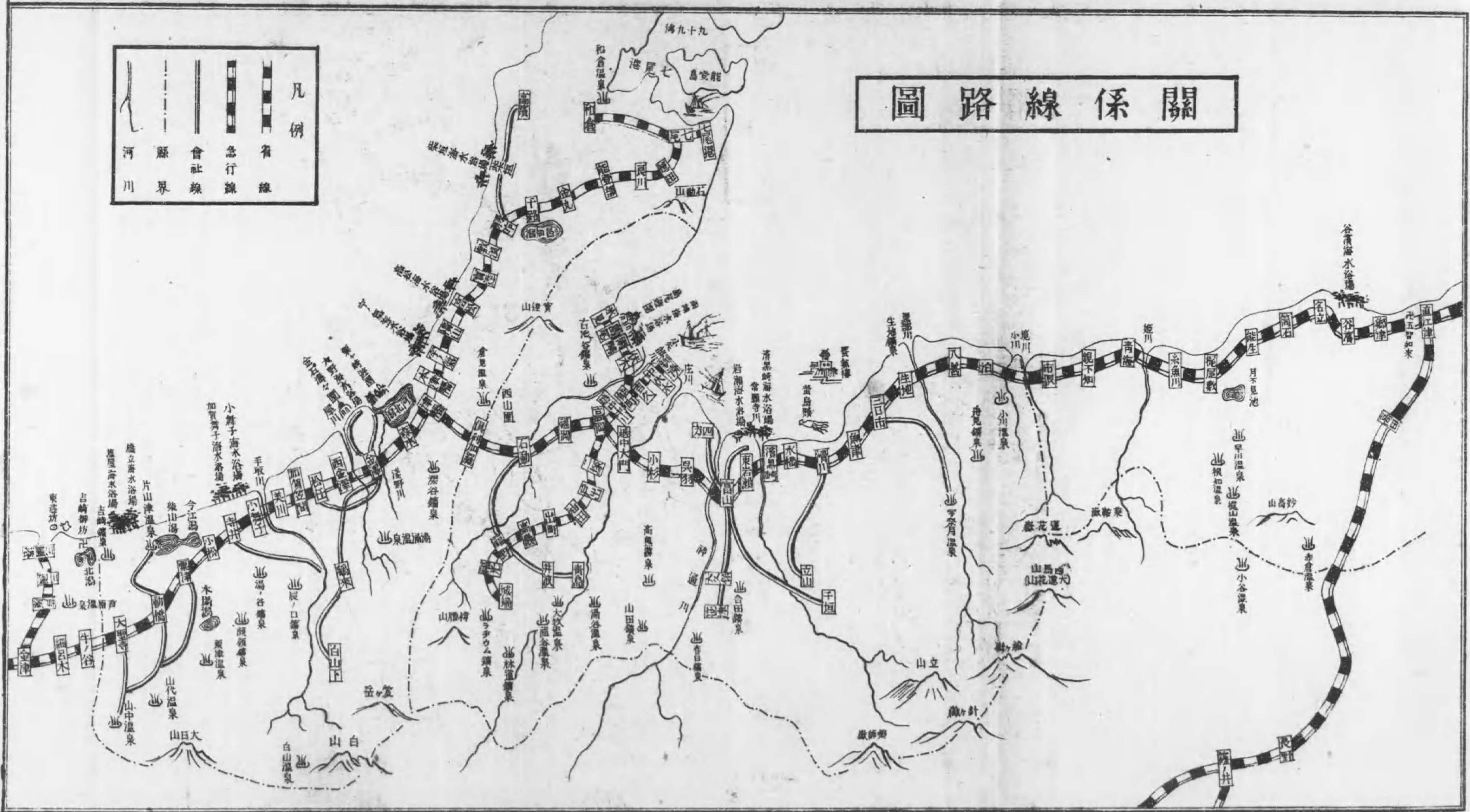
始



#273
540

關係線路圖

					凡例
河川	縣界	會社線	急行線	省線	



6 7 8 9 50 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

目次

回 北陸線總況	一
回 金澤管内各驛概況	二
回 北陸溫泉案内	二八
回 神社佛閣	三九
回 名所舊蹟	四一
回 狩獵案内	四五
回 釣遊案内	四六
回 登山案内	四七
回 公衆電報取扱驛	四八
回 乘合自動車案内	四八
回 名物及立賣案内	四九

國 事 紀 略	國 金 庫 考 略	國 史 紀 略	國 傳 記	國 志 略	國 傳 略	國 傳 略	國 傳 略	國 傳 略	國 傳 略	國 傳 略	國 傳 略	國 傳 略	國 傳 略	國 傳 略	國 傳 略	國 傳 略	國 傳 略
------------------	-----------------------	------------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------

目
次

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

自序

旅行案内といふ題目の下に出版される書冊は現今に於ては其數が非常に多い、が其の内容に至つては何れも大同小異で、汽車汽船の發着時間と鐵道地圖、旅館案内といふ風のもので其の地圖も線路許りをいやに太く書いて、其の周圍には山岳を屏風の如く立て列べまるで行抜け無用の貼札をする考へとも思はれる位である。

所が汽車の客はいつでも三分の一ばかりは用事でなさうな人達である。斯うした人々にもつと行く所があつたらと思ひ、又實際顧みられぬ隅々の多い事を考へると、折角の好い島國に住む私共の幸福にもまだ割引のある事を感じてゐる。こうした私の考へからこれ等の欠点を除き我北陸地方旅行者に便せんために、この書を公にしたのである。

元來私の山水放浪癖は病的だといつてもよい。たかゞ二週間も旅行しないで居やうものなら、それはくは戀々として山深き温泉場を懐かしみ、河畔の宿を想ひ、海を慕ふ。其の思ひたるや將に相思相愛の戀人を思ふ切々たる情緒にも比すべきものがある。山の温泉場の思出。河畔の宿の墮眠。或は月夜の海の船歌。それをどうして忘れられやう。さればこそ片雲の風に誘はるゝ夫れのごと、飄然として旅の途に上るのである、こうした十數年來の山水放浪の間にあつて、實地踏査と探勝の體驗を基礎とし、鐵道當局の調査を參考として、その採長補短の結果、編み上げられたものがこの小冊子であるのである。私が本編が種々の意味に於て今日までに頒布された案内書中、最も簡潔にして要を得たるもので

あることの自信を今後よりよき案内書の出版されない限り裏切られることはあるまい。

大正十五年九月二十日

湖 南 し る す

尙ほ本書發行に對して多大の便宜を興へられた八尾村金澤運輸事務所長に滿腔の謝意を表す。

北陸旅行案内前編

【大聖寺——直江津間】

富 澤 湖 南 編

北陸線總況

北陸線は東海道線米原に起り琵琶湖の東北岸に沿ひて敦賀に出で、更に北方木ノ芽峠の山谿を経て越前、加賀、越中の平野を貫き、親不知、子不知の嶮を過ぎ越後直江津に至つて信越線に接する線を言ふので、此の哩程二二八哩三分である、内、米原以北八三哩一分の牛ノ谷間と敦賀敦賀港間一哩五分、敦賀より分岐し若狭の新舞鶴に至る小濱線の五二哩四分と金津から分れて三國港に望んでゐる六哩一分の三國線とは敦賀運輸事務所の管區であつて。牛ノ谷以北の一四五哩二分と津幡から分岐して能登半島を縦走して和倉温泉に至る七尾線三四哩三分、高岡で南北に亘つて越中平野を横斷する中越線、氷見線、新湊線三一哩は金澤運輸事務所管内の輪廓である。本篇は即ち後者所管の概観を記述することとしたのである。

本所管は石川、富山、新瀉の三縣に跨り裏日本縦貫交通線の最樞要部を占めてゐる、沿線は概して平坦な沃野で且つ海岸に接してゐるので海陸の天産物は豊富であり、更に著名なる神社、佛閣、名所、舊蹟も豊富なる温泉場と理想的な海水浴場等があるので、旅客には四季夫れ／＼に旅情を慰むる点が頗る多いのである。以下順を逐ふて是れ等の概況を記述すると雖もこの小冊子到底詳細を記するに難いので單に旅行の指針として編纂したものであるから讀者は直接遊杖を曳いて、この秀でたる風土を探らねたい。

各 驛 概 況

◆大聖寺驛 【圏内戸口】 戸口 七三萬正千 石川縣江沼郡三木村

温泉電軌山中線の分岐点、大聖寺中學校、江沼高等女學校の所在地で【菅生石部神社】は北十五丁大聖寺町にあり、【吉崎御坊】【塩屋海水浴場】【加賀吉崎鑛泉】何れも南一里十八丁船車の便がある、【山中温泉】は東二里廿五丁電車の便あり、名産山中漆器は夙に世に知られてゐる所、大聖寺川は縣下有數の鮎釣場で北潟は鱒鮒鰻の好獵地亦山中温泉附近は雉の獵地として名高い。

【物産】 米、木炭、石材、鐵銅製品、絹織物 【工場】 聖城織物會社(羽二重) 加賀織物會社(羽二重) 錦城物産會社(羽二重) (以上大聖寺町) 日本絹織會社絹紡工場(絹紡絹糸)(南郷村) 同二天工場(絹紡織物) (二天)

◆動橋驛 【圏内戸口】 戸口 三千五百 一萬八千余 石川縣江沼郡動橋村

温泉電軌山代線及片山津線の分岐点で【篠生寺】があり名物粽餅あんころがある。【山代温泉】南一里十丁【片山津温泉】西廿五丁【那谷寺】東一里三丁【寶盛塚】【橋立海水浴場】西北一里四丁、何れも電車又は自動車の便がある。河南、分校附近、柴山瀉、片野の大池等何れも好獵地として名高い。

【物産】 米、藁製品、石材、瓦

◆粟津驛 【圏内戸口】 戸口 一萬七千 石川縣能美郡粟津村

温泉電軌粟津線の分岐点で【粟津温泉】へは南廿八丁電車、自動車の便がある【三湖臺】も程近い。

【物産】 米、藁製品、瓦 【工場】 北國製瓦會社

◆小松驛 【圏内戸口】 戸口 約一萬一千余 石川縣能美郡小松町

尾小屋鐵道の分岐点で區裁判所、小松中學、小松商業、能美高等女學校の所在地で、多太神社がある。【安宅の關跡】は北西一里十二丁の海中にあり、【瀬領温泉】は東二里【今江瀉】は西南一里十八丁の所にあつて鳴の獵地である。

【物産】 羽二重、九谷焼、花莫産、米、木材、石材、粘土、銅 【工場】 小松製作所(電氣鑄鋼製品) 小松製陶所(化粧用陶磁器) 九谷機業場(金紗縮緬) 本仁機業場(絹織物) (以上小松町) 尾小屋鑛山(銅)

◆寺井驛 【圏内戸口】 戸口 二千五百 一萬五千 石川縣能美郡根上村

能美電鐵の分岐点で【加賀舞子】の海水浴場がある【辰ノ口鑛泉】【湯ノ谷鑛泉】へは電車の便があり、寺井野町は九谷焼の名産地である。

【物産】 米、砂利、砂、九谷焼 【工場】 加賀製陶所湯谷工場(硬質陶器)東一里廿町、同根上工場西北一丁、九谷陶磁器組合(九谷焼)東一里、京都織物會社根上工場(生繻子)南六丁、米澤機業場(羽二重)東北十丁、瓦製造組合(瓦)東一里二十丁

◆小舞子

石川縣能美郡湊村

海水浴客のために夏季に限り毎年開設さるゝ停車場にして白砂青松相連る所舞子に髣髴たりといふ所から其名が起つので風光明媚の地である。

◆美川驛

【圈内戸口】

戸口數 三千八百
二萬五千

往昔もよよしと呼ぶ般振な船着場であつた、當時數多の船頭などに媚を賣つた所謂小女郎の遺物である美川遊廓がある。驛前からは【辰ノ口鑛泉】に乘合自動車が連轉してゐる。【手取川】は河口をこゝから海に注いでゐるが、白山に源を發し能美石川二郡の境界を作つて流程實に廿二里に亘り縣下第一の大河がある。河水清流で上下流共に鮎の好獵地として知られてゐる。

【物産】 米、砂利、魚肥 【工場】 東京クレ―會社(白土製紙原料)東南二里 石川板紙會社(ボール紙)東一里

◆加賀笠間驛

【圈内戸口】

戸口數 二千六百
一萬八千

石川縣石川郡笠間村

加賀平野の中心で加賀米の代表的産地として知られてゐる。 【物産】 米、

◆松任驛

【圈内戸口】

戸口數 五千四百
二萬九千

石川縣石川郡松任町

金澤電軌松任線の分岐点で松任農學校、松任實業女學校の所在地。「ほとゝぎす」として明けにけり」の俳句に依つて閑秀俳人として知られてゐる【千代尼の墓】も近くにゐる。

名物圓八あんころは天狗より教へられたといふ古い傳説を有する名高いもので尙ほかんかん糖も今でこそ知る人も少いが、以前はあんころと並び賞せられた名物である。

【物産】米、【工場】松任織物會社(羽二重) 松任燃糸織物會社(生糸羽二重)

◆西金澤驛 【圏内戸口】戸數 七千五百
人口 四萬二千 石川縣石川郡押野村

金澤電軌鶴來線及白菊町線の分岐点である【白山比咩神社】鶴來町より十丁、【白山】鶴來町より金名鐵道にて白山下驛より登山する。白山の山麓白蜂村に白山温泉があり、尾口村に岩間温泉がある。

【物産】米、洋紙、飴 【工場】加賀製飴會社南五丁、加賀製紙會社(洋紙)南二丁

◆金澤驛 【圏内戸口】戸數 三萬五千
人口 十五萬六千 石川縣金澤市

金澤電軌線は縦横に布設され其一端は松任町に至る其他電車は市の一端白菊町より西金澤驛に至るもの、中橋町から外國貿易の先驅者錢屋五兵衛の出身地金石町を経て大野港に至るもの、及金澤驛より新須崎に至るものがある。石川縣廳、醫料大學、高等學校、高等工業學校其他中等程度以上の學校總べて十有余を數へ、第九師團司令部、歩、騎、砲、工輜重の諸隊駐屯する等北陸第一の大都會で人口十五萬と號してゐる。地はもと前田氏百萬石の城趾で市の中央に一丘陵の連亘せるは即ち【舊金澤城趾】である、今は僅かに石川門のみを残してゐる。【兼六公園】驛より十八丁、東山公園二十丁、【尾山神社】十二丁、【天徳院】一里、【大乘寺】一里五丁を隔て、何れも市中にある。金石遊園濤々園、粟ヶ崎遊園、

【粟ヶ崎海水浴場】、【金石海水浴場】、【大野海水浴場】等何れも電車自動車の便があり設備萬端到らざるなく好適の遊樂場である。大乘寺山の斜面は約十萬坪の畑地で冬季【スキー】の好適地である。湯涌温泉は郊端小立野より三里半、自動車の便がある。

【物産】 米、梨子、煙草、清酒、綿絲、陶磁器 【名物】 梨、長生殿、鮭佃煮 【工場】 錦華紡績會社(綿糸)南西十五丁、日本硬質陶器會社金澤工場(硬質陶器)南七丁、金澤酒造會社(清酒)南五丁、金城織物會社(絹織物)東八丁、北國漁網燃糸會社(綿燃糸)東十五丁、金城織物會社(絹織物)東南十丁、高坂燃糸會社(燃糸)南五丁、清水機業場(羽二重)南五丁、金澤地方專賣局(煙草)南東七丁

◆森本驛 【圈内戸口】 戸數 四、千、二、百、二、十、六、百 石川縣河北郡森本村

福光往來の要衝で【河北潟】に至る好箇の驛である、【深谷鑛泉】東南二十丁入車、自動車の便がある、【河北潟】沿岸は鮒、鯔、鯰、鰻の釣遊地として知られ金澤市よりの釣遊者はこゝへ下車する、尙ほ附近一帯は切花(和花)の栽培を業とし各地に賣り出してゐるものが多い。

【物産】 藁製品、肥料、煉瓦、瓦 【工場】 水口工場(煉瓦)瓦東南十五丁、中村工場(煉瓦、瓦)東北十二丁

◆津幡驛 【圈内戸口】 戸數 七、千、七、百、石川縣河北郡中條村

七尾線の分岐点で往昔錢屋五兵衛が埋立を計りて刑せられた【河北潟】へは十二丁で森本

驛と同じく釣遊者の乗降りが多く、河北潟は又鴨、鴨の獵によい。

【物産】 米、藁製品、砂 【名物】 きびあんころ

◆俱利伽羅驛 【圈内戸口】 戸口数 六千八百 石川縣河北郡俱利伽羅村

壽永の昔木曾義仲が火牛の計を以つて、平維盛を撃破した古戰場である。猿ヶ馬場には義仲の「寢覺めの夢か月かなし」の句碑があり、手向神社には其遺物があるといふ。附近は雉や兎の狩獵に適してゐる。

【物産】 果物、味噌、醤油、木炭

◆石動驛 【圈内戸口】 戸口数 五千五百 富山縣西礪波郡石動町

加越鐵道の分岐点で、俗に埴生八幡と稱する【護國八幡宮】は木曾義仲の戦勝祈願所として名高く願文其他遺物が多い西南十二丁、【巴葵塚】南一里、石川舜台を生んだ【道林寺】北八丁、礪波の關趾南三十五丁越の三關の一である、【觀音瀧】は北一里七丁の所に懸り直下四丈幽邃の地で避暑に適する、【石動鑛泉】東二丁、大正十三年陸軍特別大演習は石動地方を中心として行はれ小野立所は埴生にある十二丁、【小矢部川】は郡内の流程實に十一里に及び鮎の産地として知られ、丘陵一帯は狩獵地として知られてゐる。

【物産】 米、木材、砂利、洋紙。 【名物】 薄氷(菓子) 【工場】 北國製紙會社(洋紙)東十
四丁、高田硝子壘製造所北一丁、石黒煉瓦工場北六丁、笹川窯業會社(煉瓦、瓦、土管)
北六丁、石動鐵工會社(稻扱)北六丁。

◆福岡驛

【圏内戸口】

戸数 四万六千
人口 二万七千

富山縣西礪波郡福岡町

菅笠の産地と聞えてゐる【城ヶ平横穴】は西五位村字馬場、加茂村、赤丸村字舞谷に屬する一帯の砂丘である、往古の葬穴であらうと見られてゐる、明治四十一年に發見したもので人骨、刀、玉、土器等數百を發掘された西北十丁、小矢部河畔と五位村附近は狩獵に適する。

【物産】

菅笠、米、木炭、肥料

【工場】

北陸染布會社(金巾毛斯友染)北東二丁。

◆高岡驛

【圏内戸口】

戸数 一萬四千
人口 七萬四千

富山縣高岡市

中越線の分岐点で高等商業、中學、工藝、商業、高等女學校等があり、人口四萬二千を有する商工業の盛んな都會である。【高岡公園】東十丁、【櫻の馬場】は櫻の名所にして北一丁、關野神社西五丁、瑞龍寺南八丁、【七本杉】は驛前御旅屋町にあり其高さ十三丈五尺亭々天を靡してゐたのだが暴風の爲に五枝は折れ、根株は半ば吹倒されて現在は只二枝を有するのみで市民は靈木として之を尊敬してゐる。

【物産】

米、木材、鐵器、銅器、鮮魚、綿糸。

【名物】櫻あんころ、おやき

◆越中大門驛

【圏内戸口】

戸数 二千二百
人口 一萬三千

富山縣射水郡大島村

越中平野に於ける代表的米産地にして、古來より庄川の舟便によつて其集散亦盛んである。【庄川】は流域二十一里にして雄神橋附近は鶴の狩獵地である。

【物産】

米、藁製品。

【工場】

淺井合名會社(莫産)西南二里三丁

◆小杉驛

【圏内戸口】

戸数 五千
人口 三萬

富山縣射水郡小杉町

天正年間豊臣秀吉來りて佐々成政と兵を交へた【大閣山】は南十四丁、金山村方面は狩獵の好適地である。

【物産】

米、藁製品、染料、顔料及塗料。

◆吳羽驛

【圏内戸口】

戸数 四萬八千
人口 二萬八千

富山縣婦負郡西吳羽村

【北代の梅林】東八丁、【五福の桃林】南東八丁、【加茂神社】は應永年間の古社で脚氣に靈驗ありと傳へられてゐる「ヤブサメ」の神事は今尚ほ開催されて毎年五月の例祭には參詣者頗る多い北西三十丁。

【物産】

藁製品、瓦。

◆富山驛

【圏内戸口】

戸数 三十五萬六千

富山縣富山市

富山鐵道の分岐点で縣營鐵道は市の南端より立山登山路なる千垣に至り、市街電車は驛前から一は堀川新に他は吳羽山麓に至り、越中電軌は四方町に富岩電車は東岩瀬町迄各市の郊端から開通してゐる。富山縣廳、藥學專門學校を始め中等程度の學校五を算し、歩兵第三十五聯隊の屯營地で人口七萬を有する北陸第二の都會である。【吳羽公園】は市の西方に崛起せる丘陵で北に北代の梅林、東に五福の桃林ありて眺望よく西三十丁、【富山城趾】は水越、神保、佐々氏等を経て前田利長此地に封せられし以來累代の居城であつたが今は縣廳の敷地となつてゐる、【大法寺】は日行上人の創建、【神通川】は縣内の流程十四里鮎、

鮭、鱒の産多く、帝室御獵場がある、【立山】は東南十六里縣營鐵道線南富山驛から千垣驛に至つて徒歩せねばならぬ、小原節の本場八尾は西南四里にあり、【高熊鑛泉】【山田温泉】も程近い。【物産】 容器、米、木材、ボロ類、賣藥 【名物】 鮎壽し、鱒、鮭 【工場】 富山製瓶會社西四丁、廣貫堂(製藥)南二十五丁、師天堂(製藥)東南十五丁、大正製麻會社、富山工場(麻糸)東廿丁、富山製網會社(麻網)北廿五丁、糧秣販賣組合藁繩工場(藁繩、藁、干草)西南一丁、飛彈林業會社(木材、枕木)西南十八丁、富山縣織物模範工場(絹織物)東南廿五丁、中川製油所(種白絞油、油粕)東南十三丁、第一ラミー紡績會社(ラミー糸)東三十丁東洋絹織會社(絹織物)東二十丁。

◆東岩瀨驛 【圏内戸口】 戸口數 四千余 富山縣上新川郡豊田村

名畫家、岸駒を生んだといふ地で、東岩瀨町から富山驛に至る富岩鐵道があり、富山高
等學校は七年制にして馬場氏が百三十萬圓を投じて創設したものである。東岩瀨港は伏木
港に次ぐ良港で築港建設中にて成るの日は富岩運河も築成される筈である、【萩の浦】と【波
除の松原】は共に景勝の地で東岩瀨より水橋に至る海濱の稱で其間【東岩瀨海水浴場】、【濱
黒崎海水浴場】がある。驛の東方は鴨の獵地である。

【物産】 米、木炭、魚肥。【名物】 飛騨子は巖小波氏のお伽噺にまで出てゐる程名高いもので
ある。【工場】 岩瀨鐵工所(土運車、鐵桁)北西廿九丁、黒田製材所(不工板)西北廿六丁

◆濱黒崎驛 富山縣上新川郡濱黒崎

夏季のみ海水浴客のために開設される驛で、【萩の浦】、【波除の松原】等を背景として景
勝の海水浴場で常願寺川の對岸にある八丁。

◆水橋驛 【圏内戸口】 戸口數 三千二百 富山縣中新川郡西之郷村

【親鸞上人腰掛松】は西二十五丁、常願寺川は流域十里、安政の大地震のため大鷲山崩壊
して河身充塞河水ために氾濫し沿岸の沃野悉く荒蕪と化し慘狀を極めしかば其後改修工事
を施したが今尚ほ泥砂を流出して時に濁水となり、本夏立山の一部崩壊に際してこの二の
舞を演んせんかと關係民の憂悞其極に達したのであつた。白岩川、常願寺川附近は好箇の
狩獵地である。

【物産】 米、鹽干魚、魚肥、賣藥。

◆滑川驛 【圏内戸口】 戸口數 四萬九千余 富山縣中新川郡濱加積村

立山鐵道の分岐点で高等女學校、水産講習所の所在地である、魚津方面よりの立山登山
者は此驛から立山鐵道に依つて終点立山驛に至つて縣營鐵道に乗換ふるのである、【大岩山
日石寺】は立山線大岩口驛から約一里、【螢鳥賊】は主として滑川海岸に産し毎年五月頃大
集團をなして馳遊するのだが、一寸余の螢鳥賊に無慮四百の發光機を有し光域は二尺に達
するので、海中深く望めば恰も數百の電燈を沈下せるに似たる美觀を呈する、この頃にな
ると遊覽者が蝟集するので遊覽船さへ出來る盛況である。【盛氣樓】は魚津驛の項に記せる
如き奇觀を四五月頃及初秋の候天氣靜穩で曇天の日に能登半島の北方海面より岩瀨海岸に

亘りて幻影する。

【物産】米、藁製品、塩干魚、魚肥。【工場】立山製紙會社(洋紙)立山線五百石驛前、北陸電氣工業會社(カーバイト)西四丁

◆魚津驛 【圈内戸口】戸數 五千八百 富山縣下新川郡道下村

魚津中學、高等女學校の所在地である。【天神山】は織田上杉二氏の古戰場であり、【蜃氣樓】は天下の一觀にして四月より六月にかけて及初秋の候天氣朦朧たるの日、富山灣内岩瀬、伏木方面の海上に現出し、其幻影する所樓閣あり、長橋ありて忽ち森林と變じ市街と化する等千變萬化頗る珍異觀である。東西布施村一帯は狩獵地として知られてゐる。

【物産】米、魚肥、鮮魚。【工場】岡崎機業場(絹織物)南西十三丁、魚津物産會社(白木綿)南東十二丁、高野組(經木製品)南十二丁

◆二日市驛 【圈内戸口】戸數 三千七百 富山縣下新川郡石田村

宇奈月温泉に至る黒部鐵道の分岐点で宇奈月温泉電車東四里四丁、【愛本奇橋】は黒部線愛本驛より七丁にして眺望よく二十丁にして舟見鑛泉がある。【黒部峡谷】の探勝は【宇奈月温泉】を其門口とし、宇奈月平、小原台附近は冬季【スキー】の好適地で、奥地には黒薙鐘釣の温泉や猿飛の奇勝等未だ世に知られない神秘境がある。

【物産】西瓜、木材、魚肥。【名物】西瓜

◆生地驛 【圈内戸口】戸數 一千六百 富山縣下新川郡石田村

【越湖ヶ濱】は白砂青松連る事一里余風景よく、松露、茸狩に名あり西拾丁、【生地鑛泉】西拾八丁、黒部川は流域廿五里河幅の廣き事縣下第一にして下流驛附近は狩獵によく、黒部西瓜の産出が多い。

【物産】果物類、木材、魚肥

◆入善驛 【圈内戸口】戸數 三千五百余 富山縣下新川郡入善町

東三丁に應神天皇を祀る【入善神社】がありその境内に隣接する【花月公園】は遊園地である。【相生の松】は西卅五丁諏訪神社の境内にあつて約五百年前の大木で周圍廿余尺高さ九十尺、地上廿四五尺の處にて岐れて兩幹となる。【六本松】は西廿余丁の地にあり高さ百廿尺、周圍三十尺で百枝六本を有するより名づけられたものである。西瓜の集散盛んな事郡内第一と稱せられてゐる。

【物産】米、西瓜、藁製品

◆泊驛 【圈内戸口】戸數 三千八百 富山縣下新川郡泊町

【小川温泉】東十八丁、【舟見鑛泉】二里、何れも自動車、人車の便がある。【七重瀧】は東一里十丁、落下二百五十尺中間突出せる岩石に遮られて中斷さるゝここ七ヶ所に及ぶので名がある。【境關趾】は越中越後の境界なる境村にある。

【物産】米、西瓜、木炭。

◆市振驛 【圈内戸口】戸數 五千九百 新瀉縣西頸城都市振村

往古山姥の住んで坂田金時の出生所だといふ【上路山】は二里十八丁、【三段瀧】は東北十丁で高さ二十尺、落下三段となつてゐる。

【物産】 木炭、薪

◆親不知驛 【圏内戸口】 戸口数 二千 新潟縣西頸城郡歌外波村

【親不知】は西南十余丁より三十丁迄の海岸で北國街道一の難所である、古往ここを往來するや、一度激浪到ると親子相顧みるの違もなく、岩窟から岩窟へ走つては難を免れた處である。一説には文治年間に平忠時が佐渡へ流された時、その妻女が忠時の後を慕ふて偶々此海岸で、愛兒を浪に奪はれ「親知らず子は此浦の浪枕、越路の磯の泡と消えゆく」と詠じたのに基くも言はれてゐる。【子不知】はこゝに次ぐの難所で東三丁の間である、この古の難所も今は車窓から望見し得る位に止まつてゐる、此附近は一帶石灰石を以て組成されてゐるので採石が盛んに行れてゐる、狩獵地としても聞いてゐる。

【物産】 木炭、石灰石、石灰。【工場】 北陸電化工業會社採石場東三丁、入善石灰製造會社採石場東三丁、金八石灰工場東北四丁、奥村石灰工場東北五丁

◆青海驛 【圏内戸口】 戸口数 一千余 新潟縣西頸城郡青海村

【勝山城趾】南二十丁、【福來口】黒姫山の谿谷にあり、【西蓮寺】東十八丁親鸞上人の「舟賃の名號」がある所である。

【物産】 木炭、石灰石、粘土、人造肥料、石灰。【工場】 電化工業會社工場（炭化石灰、

人造肥料）南十一丁、青海軌道商會（石灰）、青海石灰製造會社（石灰）。

◆糸魚川驛 【圏内戸口】 戸口数 三千六百 新潟縣西頸郡糸魚川町

中學校高等女學校の所在地で人口九千二百を有する附近第一の都邑である。【大蓮華山】東南二里十六丁【小谷温泉】アルカリ性炭酸泉で東南七里、【梶山温泉】東南六里、【根知温泉】三里。【物産】 米、木炭、木材類

◆梶屋敷驛 【圏内戸口】 戸口数 三萬八千 新潟縣西頸郡大和川村

【月不見の池】東南一里十丁、【日光寺】東南一里十五丁、【早川温泉】二里

【物産】 米、木炭、石材、鮮魚

◆能生驛 【圏内戸口】 戸口数 二千五百 新潟縣西頸郡能生町

水産學校のある所【白山神社】東北十丁、東南二里廿七丁能生谷村口には天然瓦斯發生し住民は何れも之を點燈及燃料に使用して居る。近年町南端に築港（避難港）を計畫し工事進行中で附近に海水浴場を設備した。【物産】 米、木炭、鮮魚

◆筒石驛 【圏内戸口】 戸口数 六百三十 新潟縣西頸郡磯部村

【藤崎の夫婦松】西南六丁樹齡四百年の巨松である、附近は雉や兎の狩獵地として知られてゐる。【物産】 鮮魚、木材類

◆名立驛 【圏内戸口】 戸口数 五千余 新潟縣中頸郡名立町

【名立の關趾】東三丁にありて越の三關の一である、【岩屋堂觀音】南十六丁にあり。
【物産】 米、木炭、鮮魚

◆谷濱驛 【圈内戸口】 戸數 七百三十 新潟縣中頸城郡谷濱村

【越の長濱】驛前附近の海濱の名稱で海は遠淺にして海水浴に適し又附近一帯は狩獵に適す。
【物産】 木炭、木材類、鐵及銅

◆郷津驛 【圈内戸口】 戸數 三十六 新潟縣中頸城郡春日村

【春日山林泉寺】東一里七丁上杉謙信の城趾にして、寺は謙信の學修所、【五智如來】東廿二丁、【小丸山別院】南二十丁本派本願寺の別院にして親鸞上人の配流の地である。

◆本津幡驛 【圈内戸口】 戸數 二 萬 千 石川縣河北郡津幡町

津幡農蠶學校の所在地【倉見鑛泉】東一里 【物産】 米、藁製品

◆宇野氣驛 【圈内戸口】 戸數 二 萬 四千 石川縣河北郡宇ノ氣村

石川縣農事試驗場園藝試驗地は一丁の所、主として果樹類の栽培試驗をなす、附近一帯養業盛にして繭、蠶卵紙を産する、又附近は狩獵地として名高い。

【物産】 鮮魚、魚肥、藁製品

◆横山驛 【圈内戸口】 戸數 九 千 石川縣河北郡高松町横山

木津桃の産地として知られてゐる。【加茂神社】縣社にして境内に御手洗池があり、傳説

には大國主命眼疾の患者をあはれませ給ひ、この池にて眼を洗はせられたために患者全治するも以來この池に住む鮒は悉く片眼となつたと。

【物産】 果物類、鮮魚

◆高松驛 【圈内戸口】 戸數 一 千 七百 石川縣河北郡高松町高松

【蛾山紹領禪師誕生地】は驛東北二里羽昨郡河今谷村瓜生の地にして蛾山は十六才にして比叡山に登り剃髮受戒し、深く天台宗の奥義を極め、永仁五年歳二十三金澤の大乗寺にて瑩山禪師說法すと聞き、謁して弟子となり遂に徳をなし機辨超抜して明峰無涯壺庵共に回哲の一に數へられ、徳治元年歳三十三韓に遊曆して大元に入り到る處其の名高し、後歸朝して本國に在る事十二年正中元年八月瑩山師命じて能登總持寺の後事を托す、同寺二世の住持即ち師である、曆應三年永光寺に住し貞治四年十月廿日示寂す、歳九十一門下に大源、通幼、無端、大徹、實峰あり之を蛾山門下の五哲といひ曹洞宗風は彼等に依つて諸國に傳播したと云はれてゐる。

【物産】 瓦、米、鮮魚 【工場】 西福合名會社東北十八丁、竹本工場北十九丁、南工場東

北十四丁、古林瓦工場東七丁、中田工場東八丁、南工場東北十四丁、金子工場東北十七

丁木本工場東北十五丁、瓦工場東北十八丁、金田工場(以上瓦)東北十二丁、駒井機業所

(羽二重) 西十五丁、羽田機業場(羽二重)西十五丁。

◆寶達驛 【圈内戸口】 戸數 一 千 七百 石川縣羽昨郡北莊村

【寶達山】能登第一の高峰にして眺望美、頂上に寶達權現を祠る、山中藥草多く、驛附近の寶達川からは砂利を産する。

【物産】米、砂利、瓦、礦物 【工場】田邊合資會社(石灰、瓦)南二丁

◆敷浪驛 【圈内戸口】 戸數 八百五十
石川縣羽咋郡柏崎村

【末森城趾】前田、佐々、二氏の激戦地で眺望開轄戰略上の要害地で、城趾今尙昔のおもかげを偲ふに足る 【物産】粘土、木材類

◆羽咋驛 【圈内戸口】 戸數 六千
石川縣羽咋郡羽咋町

能登鐵道の分岐点で羽咋中學校のある所【唐戸山の相撲】は毎年九月廿五日に催され「待つたなし」を以て古來名高い。羽咋神社境内から西南二丁の所に岩衝別命及巖城別王の御陵がある。能登鐵道沿線の一の宮には【國幣大社氣多神社】があり國寶に加へられ、更に日蓮宗妙成寺派の本山【瀧谷妙成寺】がある、柴垣には【柴垣海水浴場】があつて最近資本金拾萬圓を投じて一大天然遊園地創築の議が進められてゐる、終点の高濱海濱は風光美にして海水浴場が設けられた、西北四里の地

【物産】米、木材類、鮮魚、藁 【工場】羽咋織物會社(絹織物)西十丁、能登織物會社(縮緬)西十一丁、兵庫織物會社(羽二重)南十一丁、富來鑛山(金)北九里、多木鑛山(燐鑛)北九里

◆千路驛 【圈内戸口】 戸數 一萬五千
石川縣羽咋郡越路村

邑知潟は一丁余、釣遊に適す、鮎、鰻、鰻を主として毎年八月より十一月迄を好時機とする。又附近は狩獵にもよい。 【物産】藁製品、粘土

◆金丸驛 【圈内戸口】 戸數 二萬
石川縣鹿島郡金丸村

【永光寺】南三十丁、【物産】米、藁製品。 【工場】藤澤機業場(羽二重)南一里十九丁濱田機業場(羽二重)西一里十四丁、盛田機業場(羽二重)東南一里十九丁

◆能登部驛 【圈内戸口】 戸數 一千四百
石川縣鹿島郡能登部村

【親王塚】南三十丁崇神天皇の皇子大入杵命の御陵墓にして【能登比咩神社】は西十丁崇神天皇の皇女淳女城入比咩命を祀る

【物産】米、木材類、藁製品。 【工場】上村機業會社(絹織物)北十二丁、西馬場機業會社(絹織物)北十八丁、小田中織物會社(絹織物)東廿五丁、鹿島織物會社(麻織)南十丁

◆良川驛 【圈内戸口】 戸數 二千四百
石川縣鹿島郡良川村

【石動山】東二里八丁にあり、能登第一の峻嶺にして頂上に伊須流岐比古神社あり、垂仁天皇の勅願所にして泰澄大師の舊蹟がある。最近この山からセメントの原石を得べく七尾セメント株式會社の設立を見たが、非常に有望視せられてゐる。

【物産】米、木材類。 【工場】良川機業場(絹織物)北五丁、丸三織物會社、(同)北廿丁、武部織物會社(羽二重)東一里三十丁、良川製繩會社(藁繩、蔴)東西一丁、良川製材所(製材)南一丁、二ノ宮石灰會社東三十丁、郡是製糸會社東三十丁。

◆德田驛

【圈内戸口】

戸口數 二万余

石川縣鹿島郡德田村

東北五丁にして縣立種畜場附近は狩獵地として名あり。【物産】木材類、竹、瓦、牛

◆七尾驛

【圈内戸口】

戸口數 七千三百

石川縣鹿島郡七尾町

日本海屈指の開港場にして能登第一の都邑なり、區裁判所、中學校、女學校、商業學校の所在地にして【七尾城趾】は東二里にあり、【萬清園】は草木多く泉石の間に亭樹あり、すはりながらにして七尾港の勝景を見る事が出来る眺望絶佳の地である東十三丁、【妙觀院】は北十二丁にありて眞言宗の古刹で巨巖も穿つた寺門の上に觀音堂が安置されてある。

【物産】米、木材類、鮮魚。【名物】松の壽し、大豆館 【工場】加能然糸會社(縮緬)、網製網會社(網)、製綿會社(製綿)、能登蘭苳會社(苳)

◆和倉驛

石川縣鹿島郡和倉温泉

【和倉温泉】北東十八丁。【名物】和倉紫蘇香仙、卷鱒。

◆七尾港驛

【圈内戸口】

戸口數 八萬二千

石川縣鹿島郡七尾町

七尾線の終端、奥能登沿岸航路の連絡港として知られてゐる【能登島】前面に横たはり山光水色の美は蓋し北陸第一と稱せらる、【九十九灣】海上廿九裡にして達する。

【物産】入造肥料。【工場】大日本人造肥料會社工場(人造肥料)南一丁、七尾木材會社(製材)東一丁、北陸木材會社(製材)東一丁、木下窯業場(瓦)海上五里(中島)

◆氷見驛

【圈内戸口】

戸口數 九千八百

富山縣氷見郡氷見町

漁業盛にして氷見鰯の名普く、農林學校、女學校の所在地、古來能登往來の要衝で交通頻繁を極め市況亦頗る活潑である。【唐島】は十丁余の海上にある小島にして周圍數丁に過ぎざるも全島殆んど奇岩怪石にてなり島内に辨財天を祀り風光頗る可なり。【朝日山】西方に位置する丘陵にして頂上より富山灣を一眸の中に收め眺望開闊風光甚だよい。【上日寺】は其東北麓にあり眞言宗高田派に屬して境内の公孫樹は周圍五十尺に達し高さ數十尺本邦古木の一に數へられてある。【物産】鹽干魚、鮮魚

◆島尾驛

【圈内戸口】

戸口數 六千七百

富山縣氷見郡宮田村

【島尾遊園】東北二丁にあり鐵道省經營にして有磯海岸の白砂青松の間に三層樓の温泉場を設け前面一帯を海水浴場となし、附近林間に旅館、宴會場、貸席、運動場等の設備が整つてゐて毎年六月十五日から九月十五日まで開湯する、臨濟宗法燈派大本山【國泰寺】は西田村に在つて十丁。後醍醐帝の勅願寺で「護國摩頂巨山國泰萬年禪寺」の勅額を賜ひ勅彫御肖像一尊、御道歌一首を以て安置し給ふ。山上大皇殿には後醍醐(勅彫)光明、後奈良三帝御肖像三尊及御壽牌三慕を奉安す、何れも後村上帝より初代住職清原禪師に賜ふ所、其他寶物、古文書數十点ある、雨晴驛より一里。

【物産】甘藷、藁製品

◆雨晴驛

【圈内戸口】

戸口數 三百七十

富山縣氷見郡太田村

萬葉集の澁谷崎の地で海中【女岩】の岩上には有名な「つまゝ」樹白菊あり此邊りより西
 北海濱一帯は松太江の長濱と稱し、有磯海と呼び風光明媚なり、昔時國司大伴家持郷の遊
 覽地にして「いその上のつまゝ」を見れば根をはへて年ふかゝらじ神さひにけり」の萬葉集家
 持の歌にても知る、海岸には白砂青松相連り、砂細かく遠淺にして海波靜かにして好箇の
 海水浴場にて夏季般賑を極む。【櫻谷古墳】南六丁の丘上、古墳群集地として著はれ武内宿
 彌の孫大河音定尼命の墳墓あり【大石塚】より古代文化の盛觀を物語る古器數多顯はれ役場
 及び小學校に保存さる【義經雨霽】文治年中義經流離奥州に落つるの時安宅を超え能州に竄
 し越中に入り此處にて驟雨に會ひ岩窟に入りて憩ふたといふ岩窟は東二丁、【首切地藏】驛
 構内【紅葉姫の舊蹟】も近く太田川の清流に沿ふた溪谷に【古池ヶ谷鑛泉】がある閑雅幽邃の
 地で驛より十二丁。本村附近一帯は狩獵地としても著はれ、驛前面丘上の畑は冬期スキー
 練習場として絶好の場所である。

【物産】 鐵及銅、粘土、石材

◆伏木驛

【圏内戸口】

戸口數二

一

富山縣射水郡伏木町

小矢部川の河口にある北陸屈指の開港場にして船舶常に輻輳し貨物の集散盛んにして市
 況甚だ活氣を呈し、商業又般賑を極め發送貨物の大なる北陸第一の稱がある。【勝興寺】眞
 宗本派の巨刹にして信念上人の開基にかゝり、順徳天皇第三皇子信倉上人の創建に係るも
 のである。

【工場】 伏木石灰會社(石灰)十四丁、北海工業會社(バルブ、洋紙)南十五丁、北陸人造肥料會社(人肥、硫酸)南十丁、北海曹達會社(苛性曹達、晒粉)南七丁、電氣化學工業會社(岩化石灰、石灰窒素。硫酸、硫酸アンモニア、生石灰)、瓦製造組合(瓦)

◆能町驛 【圈内戸口】 戸數 四百三十
新湊線の分岐点である。【物産】 清酒、木材類

◆吉久驛 【圈内戸口】 戸數 二百
一般旅客及一車積貨物の取扱をなす、石炭の發送が多い。

◆中伏木驛 【圈内戸口】 戸數 四百三十
石炭、骸炭、バルブの發送盛なり、【工場】 新宮商行(製材、サルファイトバルブ、グランドバルブ)南五丁、伏木港製材所(製材)

◆新湊驛 【圈内戸口】 戸數 四萬三千
富山縣射水郡新湊町
漁業頗る盛んで商船學校の所在地にして往時は放生津と稱へた。聖武天皇の御宇に豊前國宇佐八幡宮を勸請して【放生津八幡宮】を建立し放生津會式を營めるより地名を放生津と名づけたと唱へられてゐる、大字放生津町にあり【宗良親王御陵】驛より東南二十丁にあり【奈吳の浦】東三十丁にあり青松白砂相連ること里餘風光頗る明媚である。【放生津潟】新湊町の東南にあり周圍一里二十丁蛭、鱒、鯉、鮒を産し、湖中に海龍島があつて辨財天を祀つて毎年七月卅日に祭事が催されてゐる。【伏木築港】は新湊町の海岸に築かれつゝあるがこ

れが完成の曉には新湊町の活躍は目覺ましいものであらうと期待されてゐる。

【物産】 木材類、塩干魚、鮮魚、セメント類 【工場】 日本鋼管會社電氣製鐵所(製鐵)南西一丁、越中製軸會社(マツチ用軸木)東卅丁、湊灘醸造會社(清酒)東七丁

越中中川驛 富山縣高岡市

旅客學生のみを取り扱ふ驛で附近には高岡高等商業學校、高岡中學校、商業學校がある

二塚驛 【圈内戸口】 戸數 四百余 富山縣射水郡二塚村

恒良皇子御墓【東五丁にあり、【工場】 二塚物産會社北六丁、中崎織物工場西四丁

戸出驛 【圈内戸口】 戸數 三千八百 富山縣西礪波郡戸出町

米の發送の多き事金澤管内第一である、【弓の清水】壽永の昔源義仲此地に来るや、軍士大に渴したるにより、弓を以て地を穿らしに忽ち清水湧出し、大に渴を醫したといふ驛より一里廿丁。【物産】 米、藁製品 【工場】 戸出物産會社(綿織物)東南五丁、戸出麻布會社(麻織物)北五丁

油田驛 【圈内戸口】 戸數 二百八十 富山縣東礪波郡油田村

驛より東南二里十八丁安川山は狩獵地である、【工場】 若鶴酒造會社(清酒)北一丁、【物産】 米、清酒

出町驛 【圈内戸口】 戸數 五萬五千 富山縣東礪波郡出町

礪波平野中心も樞要の地を占める地で中學校の所在地である、【長尾塚】東二里五丁、増

山城趾三里五丁、【淳良親王御墓】一里卅丁、【千光寺】垣武天皇以來七代の勅願所である、眞言宗の名刹で大寶三年僧法道の開創に係り、往昔は數十の坊舎を並べてあつたが爾來屢兵燹に罹り現在の堂宇は天正年間前田利長の建立したものである、東二里十丁

【物産】 米、藁製品 【工場】 立山酒造會社(清酒)東卅六丁、北陸綿業會社(打綿)西五丁

旭木工會社(紡績木管原料)東五丁、中越製布會社(麻布)西三丁、中越電氣工業會社(黒鉛)北四丁、橋本木工場(紡績木管原料)西一丁

高儀驛 【圈内戸口】 戸數 三百五十 富山縣西礪波郡野尻村

【物産】 米、藁製品

福野驛 【圈内戸口】 戸數 三萬二千二百 富山縣東礪波郡福野町

加越線の乗換驛にして縣立農學校の所在地である、【安居寺】西十丁眞言宗の古刹にして元正天皇養老二年印度の僧善無畏三藏の草創で聖武天皇の御宇行基僧正勅命に依つて大伽藍を建立し勅願所となつたものだが爾來兵燹に罹つて今は觀音堂、仁王門によつて昔日の面影を偲ぶに過ぎない。【高瀬神社】加越線の高瀬驛から二丁の處にある國幣小社で、大己貴命、天生活命、五十猛命を祀つてあり、昔は氣多神社と稱し皇室の崇敬が殊のほか深く社格も厚かつたといふ、【瑞泉寺】加越線井波驛から十丁、眞言宗の別院で恰も長野に於ける善光寺の如き地位で毎年七月廿二日から廿八日まで太子傳會を行ふが來り拜するもの日々數萬に及ぶ盛大さである。【大牧温泉】は加越線青島驛から三里庄川の上流にて更に數丁

を行き【祖谷温泉】があり、青島郊端には湯谷温泉がある。

【物産】 野菜、木材類、綿織物類 【工場】 越中織物會社(縞木綿、上布緋)西一丁、富山紡績會社工場(大巾薄金巾、ネル地)西北八丁、合同織物會社(晒木綿、緋)西一丁、福野織物會社(縞木綿、上布)北五丁、北陸物産會社(縞木綿、緋)北六丁

◆福光驛

【圈内戸口】

戸數 四千六百

富山縣西礪波郡吉江村

◆栖露園

【物産】 壽永の昔石黒太郎の城砦を構へた處で古來製絲業の盛な町である。

【物産】 生糸、蚊帳、羽二重、干柿

◆城端驛

【圈内戸口】

戸數 三千四百

富山縣東礪波郡南山田村

中越線の終点で絹織物の特産地である、【ラジウム鑛泉】西三丁、【善徳寺】一に城端御坊と稱して西三丁にある、眞宗大谷派の別格別院で當町に於ける巨刹である、【繩ヶ池】東南卅丁叢谷村の山間にある碧潭で、周圍十五丁其深さ測る可らずと傳へられ、往古小矢部川に大蛇棲み土民に對して害を及ぼす事が甚だしかつたので、泰澄大師は之を救はぶとして大蛇をこの山中に追ひ來たつたが、遂に姿を見失つて了つた、こゝに於て大師は繩を張り呪咀せられた處其區域一夜の中に陥没して池となつたものだとの傳説が残つてゐる。【立野ヶ原】陸軍演習地で廣大な陸軍廠舎がある、此附近は冬季スキーの好適地であつて驛から十五丁、林道鑛泉十五丁、【物産】 藁製品、木炭、清涼飲料水 【工場】 越中織物會社(絹織物)西七丁、城端織物會社(絹織物)西十五丁、城東機業會社(絹織物)西十二丁、日本炭酸泉會社(ラムネ、サイダー)北西三丁

◇ 地方 鐵 道 【大正十五年十月現在】

道 金澤市街 自 金澤驛 市内大通行 (湯涌温泉 金澤驛大 野村兵營)	軌 松金線 自 松任驛 金澤市行	電 金野線 自 西金澤驛 金澤市白菊町行 (野村兵營 澤市犀川口)	澤 石川鐵道 自 西金澤驛 鶴來町行 (白山登山 白山比咩神社)	金 金名鐵道 自 鶴來町 白山下行 (白山登山 白山温泉)	能美電氣鐵道 自 寺井驛 鶴來町行 (辰ノ口、湯谷 鑛泉白山登山)	尾小屋鐵道 自 小松驛 尾小屋鑛山行	溫泉電軌 自 大聖寺驛 山中温泉行 自 自動橋驛 山代温泉行 (那谷寺) 自 自動橋驛 片山津温泉行 (橋立海水浴場 實盛塚) 自 栗津驛 栗津温泉行 (那谷寺)	金石電氣鐵道 自 金澤市中橋町 大野港行 (金石遊園 大野、金石 海水浴場)	淺野川電氣鐵道 自 金澤驛 新須崎行 (粟ノ崎遊園 河北湯)	能登鐵道 自 羽咋驛 能登高濱町行 (柴垣海水浴 場、氣多神社)	加越鐵道 自 石動驛 青島町行 (大牧、祖谷 湯谷温泉)	富山鐵道 自 富山市 笹津行 (合田、春日、山 田、高熊鑛泉)	富山縣營鐵道 自 富山市 千垣行 (立山登山)	富山市營 自 富山驛 堀川村行 自 富山驛 櫻谷行	越中電軌 自 富山驛 四方町行 (海水浴場)	富岩鐵道 自 富山驛 岩瀨港行 (海水浴場)	立山鐵道 自 滑川驛 立山驛行 (立山登山)	黒部鐵道 自 三江市驛 宇奈月温泉行 (黒部峡谷)
--	------------------------------	---	--	---	--	-----------------------------	---	--	---	---	---	--	-------------------------------------	---	------------------------------------	------------------------------------	------------------------------------	---------------------------------------

温泉案内

○ 芦原温泉 福井縣坂井郡芦原村

北陸本線金津驛より分岐する三國線芦原驛下車、金津、芦原間約十分。

明治十六年發見されてから草創僅か四十年、温泉としての凡ての設備は完備し、旅館二十數軒に及び中には、二十三十の客間を設けて百數十人の浴客を一時に抱擁し得るものもある、然かも皆内湯であるから晝夜分たず温泉にひたる事が出来る、それでゐて宿泊料は他に比して低廉で二飯附一泊二圓以上三圓五十錢見當である。【泉質】無色透明の塩類泉で鹹味を有し弱アルカリ性の反應を呈し、神経系統病、リウマチス、胃腸、呼吸器、皮膚病によい。【風光】温泉が田園の中が湧出したのだから取り立て、云ふべき景色もないが、周圍が福井平野の、廣漠たる農園である爲、温泉街にも一帶に平和な明るさが漂ふてゐる、附近には三國踊の本場で有名な三國港や、北陸の奇勝景東尋坊があり、九頭龍川堤上の春は萬朶の櫻が微笑する。

酒は酒やで濃い茶は茶屋で、三國小女郎は松ヶ下。主がまつまのあの東尋坊、心とくろく浪の音。……三國節

○ 山中温泉 石川縣江沼郡山中町

北陸本線大聖寺驛から東南二里十八丁、電車の便がある約三十分。

【風光】名の如く山中の温泉で、黒谷川の清流を控え、峰巒四周を巡り東方大聖寺川滄々として山脚を洗ひ、殊に蟋蟀橋附近の秀景は北陸温泉中の随一と稱せられ、冬季此の邊り白雪

を以て隈ざる頃の景觀は實に美しい。歴史は頗る古く千二百年前僧行基北錫の砌り發見されたもので一時荒廢の運命に遭難したが建久年間長谷部信連鷹狩の折、白鷺の芦葦間に傷脚を洗へるを見て温泉のあるを知りかくて此處に浴槽を設けて爾來七百余年今日に至つたものである。【泉質】無色透明の弱塩類泉で温度百八十度微かに鹹味と硫化水素臭を有し、脚氣、慢性消化器、神經衰弱、慢性皮膚、慢性呼吸器、腎臓の諸病によい。浴槽は三箇あつて菊の湯、白鷺の湯、葦の湯と稱せられ、何れも高雅で設備完成、靈泉日夜滄々として湧いてゐる。旅館には内湯はないが、湯女が謠ふ有名な山中節の情調に侵つて温泉場のデカダンスを味ふもよい。一泊三圓乃至七圓他に安宿もある。

山が高うて山中見えぬ、山中戀しや山にくや。

送りませうか送られませうか、せめて二天の橋までも。

忘れしやんすな、山中道を、東や松山西しや薬師

谷にや水音峰には嵐、あいの山中湯の匂ひ。

かくりとに河鹿や波の下むせび

(芭蕉)

○ 山代温泉 石川縣江沼郡山代町

北陸本線動橋驛から南一里十丁、電車の便があり、山中温泉と薬師山の丘陵を隔て、表裏になつてゐる、山中と同じく僧行基の發見で、陸軍療養所があることから察しても優れた温泉であることが知られる。【風光】東に春日山及薬師山一帶の松翠を負ひ、三面は廣々とした江沼盆地で眺望開豁、交通至便の地である。大聖寺川に近く夏は涼風を求めて清流

に遊び得べく、秋は香味で名高い山代松茸を狩るべく又温泉背後の落葉散り敷く丘上も散策に適する。【泉質】泉脈は薬師山から来てゐて町内數ヶ所に湧出してゐる。量も多い、無色透明の弱鹽類泉で、温度百六十五度、旅館には内湯の設備が出来てゐる宿泊料は各戸一定してゐないが一圓五拾錢から上の部で五六圓見當。例のしゝもゐる。

○片山津温泉 石川縣江沼郡月津村

北陸本線動橋驛から僅かに西廿五丁電車、自動車の便がある。【風光】柴山瀉の湖畔にある水郷の温泉で背に薬師山の松翠が待ち、湖を隔て、一帯砂丘が連り、眺望甚だよい。承應の昔大聖寺藩主前田利明一日舟を湖上に浮べ清遊の折に、水禽の群り飛ぶを見て發見されたもの、其後中絶の姿で十四五年前までは全く顧られなかつたのだが、其秀麗な風光と優秀な泉質とは僅か十年の中に十數戸の旅館をつくり、温泉に依つて生活する數千の人口を集めたのである。【泉質】無色透明無臭の強い鹽類泉で温度百三十度其含有成分は附近温泉中優秀なもので、胃腸、呼吸器、糖尿病、黃疸、阻石諸病(以上内服) ソウマチス、胃腸、皮膚、關節強直、神経痛、腺病、炎性滲出物、婦人病等に神効がある、旅館の設備も整ひ一泊(三食附)三圓乃至七圓程度で安宿もある。

近郊一帯は歴史的色彩に富み、殊に實盛塚、首洗池の邊り雜草茂り合ひ、松籟颯々として除ろにありし昔を偲はれ感慨の深い所、附近は狩獵の好適地である。

盆の十六日闇ならよかる、お手々ひきよて薬師山
一夜五両でも妻もちやいやちや、妻の念力やおそろしや。

あなむざん兜の下のきりくす

(芭蕉)

花も實も盛りみつれども今は只名のみ残す篠原の里

(遊行上人)

○粟津温泉 石川縣能美郡粟津村

北陸本線粟津驛から南廿八丁電車、自動車の便がある、【泉質】かさ粟津とまで謠はれる外皮膚、ソウマチス、神経痛にもよい、冬から秋にかけて小禽をとるが佳しとせられてゐる、北陸には珍らしい無色透明の硫黄泉で、昔泰澄大師が白山大権現の靈告によつて發見されたといふあらたかな湯で當時總湯、薬師湯、御坊湯の三湯があつたが、今は總湯と法師の湯(御坊湯)の二湯である。【風光】三方山に圍まれた丘陵の中の温泉で、旅舎も静かで落ちつきのある感じを與へる、公園は薬師山上にあつて大師の銅像があり、遙かに日本海の碧波を望み、山村水郭脚下に展開する開豁な眺望を有してゐる。宿料は一圓五十錢乃至六圓で中食は各其半額であり又安宿もある。

○吉崎温泉 石川縣江沼郡三木村(加賀吉崎)

發見は極最近のもので大聖寺驛から南西二里、自動車、巡航船の便がある。【風光】旅舎は二戸のみで北瀉湖畔の景勝の地にあつて吉崎御坊は其對岸である、湖の深さ三尺を超ゆる處なく旅舎にゐて釣遊が出来、鱒、鮒等が眼下に遊泳するといふ仙境である。【泉質】は有馬温泉に酷似して濃褐色を帯ひてゐる、痔疾、皮膚、胃腸、神経系統の諸病によく、宿料二圓見當で鮮魚は鹽谷から運ばれ客の好みに依つて料理するといふ氣輕な事となつてゐる。

○湯の谷温泉 石川縣能美郡寺井野町湯の谷

北陸本線寺井驛から電車の便がある、明治三十三年の發見で、古來附近一帶に温氣が立ち登つてゐたために名づけられたと鹽類泉でリウマチス、胃腸、婦人病、呼吸器病等に効がある。旅館は内湯を備つて宿料は二圓見當である。【風光】松翠滴る丘陵に包まれた静閑な地で、和田城趾も近く、九谷焼の本場も遠くなく、狭野神社(縣社)も好い社である。

○辰ノ口鹽泉 石川縣能美郡山上村(能美電鐵辰ノ口驛前)

北陸本線寺井驛から電車の便があり、美川驛からは自動車の便がある。

發見は甚だ古く、應永年間に洪水のため一時中絶してゐたのを天保年間に復活されたものである。【泉質】弱鹽類泉で硫化水素臭を帯ひ、微かは鹹味を有する、胃腸病、肝臓病、泌尿器病に効がある。【風光】こゝも全く峽中の温泉で四圍翠巒滴るの森林で包まれた涼氣自ら湧く幽邃の仙地である。手取川も近く、「氣の清水」の傳説を探るもよく、白山比咩神社に參詣するも便であり其他名所舊蹟が多い。旅館は何れも内湯を備へ設備も整ひ宿泊料も一泊二圓見當で自炊制もある。

○白山温泉 石川縣能美郡白峰村(白山々麓)

白山登山の要衝で登山する人は先づ此地で足揚をこしらへ強力を備つたりする、海拔四千尺の高地に在る温泉だけに、迫り来る嵐氣の涼かさ、清々しい朝明の氣持は別趣の感がある、北陸本線西金澤驛から石川鐵道更に金名鐵道に依つて白山下まで、更に自動車の便があるので何の苦もなくなつた、秦澄大師の發見で、【泉質】亞爾加里性含塩炭酸泉で腦病、胃腸病、婦人病に卓効がある、入浴期間は五月下旬から十月中旬まで、頂上までは僅か

に三里半の處である、旅舎も設備萬端整ひ、調理も深い山だけに野趣満々たるものであり上下の眺望到底他の追従を許さぬものがある。

○瀬領鹽泉 石川縣能美郡大杉谷村

北陸本線小松驛から南二里、自動車の便がある、【泉質】弱鹽類泉でリウマチス、胃腸、肋膜炎、皮膚病、花柳病に効がある。【風光】大谷川の清流を控へ、翠滴る丘陵を負ふた静閑の地である。

附近に宇佐谷城趾があり、湯の澤橋は大杉谷川の清流に架かり、水は到る所瀑となり瀬となり淵となり、兩岸の奇岩怪石の迫る様、老樹の蟠龍せるか如くに影を寫すなど景色甚だ勝れ、上流の紺碧を湛えた處亦閑寂にして釣遊の好適地である。旅舎二戸あつて何れも内湯を備へてゐる宿泊料二圓程度。自炊制あり。

○湯涌温泉 石川郡湯涌谷村

金澤市南端小立野から三里半、驛からは電車にて中石引町停留場前に湯涌温泉行乗合自動車がある、片道一圓。【風光】犀川上流の谿谷にある山間溪流の温泉として幽邃閑雅、翠丘周圍を包み、別天地の仙境として尤も特色に富んだ場所である、【泉質】無色透明の弱鹽泉素で微温であるが胃腸、花柳病、皮膚病に効があるが特に皮膚病に神効ありと、世既に定評がある。旅舎は三戸で内湯がないが高等湯と元湯へは廊下を以て連れられてゐる。宿料は二圓見當で調理等も土地特有の材料が選ばれ、殊に岩魚の美味は他に味はふことの出來ぬものである。夏の捕魚、秋の茸狩、冬の狩獵四季夫れ々の行樂に適する。

◎ 深谷鑛泉 石川縣河北郡三谷村

北陸本線森本驛から東二十丁、人車、自動車の便がある。【風光】東南北の三面に山を負ひ一條の清流走つて閑靜の地である、附近には湖水河北瀉の風光があり、蓮如上人開基の本泉寺、日蓮宗の巨剎本興寺、義仲の舊城といふ堅田堡がある。【泉質】弱アルカリ性の鹽類泉で黄褐色透明硫化水素臭を帯び、痔疾に神効ありとは定評のある處、胃腸病、皮膚病脚氣に効がある。旅舎は三戸で何れも内湯がある。自炊を喜ぶ旅舎もある。宿料三飯附二圓五十錢以上六圓。

◎ 倉見鑛泉 石川縣河北郡笠谷村

北陸本線津幡驛及俱利伽羅驛又は七尾線本津幡驛より約一里人車、自動車の便がある。【泉質】鹽類泉で婦人病、ソウマチスに効がある。【風光】山間にある一旅舎で閑靜の地である宿泊料二圓。

◎ 和倉温泉 石川縣鹿島郡端村

七尾線の終点和倉驛から十八丁、自動車の便がある。【風光】七尾灣に望み辨天崎の尖端にあつて屏風崎前面に横はり、机島、種ヶ島、猿島などの青累連り、老松古杉水波に映じて舟遊心地よい、文字通り風光明媚で、夏は海水浴に適し、日本海に面してはるが、こゝは全く袋のやうになつてゐるので、烈風呼號、怒濤澎湃といふ如き荒つばい光景を呈することなく、氣候もよく申分のない地である。大同年間圓山の西、湯谷に湧出してゐたが爾來種々なる原因のため盛衰あり其後明治十二年大に工を興し、山を開き海を埋め立て、一

帯の陸續きとして今日に至つたもので、十三年獨乙博覽會に出品して世界第三位の鑛泉たる名譽を博し四十二年 今上陛下行啓の際御入浴の光榮に浴した名高いもので本邦中五指に入る温泉である。【泉質】無色透明無臭の塩類泉で苦鹹味を有しアルカリ性の反應を呈して百八十度の温度を有する。故松本博士は凡ての慢性病にして醫藥に全効なきものも必ず効能があると保證してゐる位で、胃腸病、ソウマチス、呼吸器病、婦人病等に卓効がある旅館は内湯を備へて設備も亦完成し宿泊料は一圓五十錢以上五圓。安宿もある。

◎ 石動鑛泉(西山園) 富山縣西礪波郡石動町

本線石動驛から二丁、汽車の待合時間にも一浴出来るといふ近さである。【泉質】硫黄泉で花柳病、皮膚病、胃腸等に効がある。能登山脈の餘派の翠巒を負ひ、小矢部川に近い處で西山園と稱せられてゐる、設備もよく、宿泊料三食附二圓程度。

◎ 大牧温泉附(祖谷温泉) 富山縣東礪波郡平村

本線石動驛から加越線に乗換へ青島驛より二里は人車、餘一里は徒歩。【風光】庄川の右岸で山水の美の見るべきものがある、附近には五箇山、芦倉瀧、熊追瀧、大牧の渦卷、加賀騒動の張本大槻傳藏最後の地祖谷などがある。祖谷は此處から十八丁同質の温泉があり庄川の川下りの壯觀は保津川下り以上だといふ。【泉質】弱塩類泉で温度百二度子宮病、皮膚病、呼吸器によい、旅館は只一戸で主として自炊制である。

◎ 合田鑛泉 富山縣上新川郡大久保町

北陸本線富山驛から分岐する富山鐵道大久保驛から東五丁人車の便がある。【泉質】鹽類

泉で脚氣、リウマチス、産前産後に効がある、地は飛彈街道に沿ふてゐるので賑つてゐる旅館は一軒のみで主として自炊客である。

春 日 鑛 泉 富山縣上新川郡大澤野村

北陸本線富山驛から分岐する富山鐵道笹津驛から西五丁人車の便がある。【泉質】無色透明の塩類泉でアルカリ性の反應があつて種々の病氣に効がある。【風光】後に日本アルプス連峰を負ふて前に神通の大河を控え山水の風致に富んでゐる、旅館は一戸で希望により自炊にも應ずる。

宇奈月温泉 富山縣下新川郡内山村

北陸本線三日市驛で黒部鐵道に乗りかへ終点宇奈月驛前である。【風光】黒部川の清流が溶々と溪間を流れ、四圍は日本アルプスに延びた端が迫つた俗塵を離れた清境である、旅館は秀麗な黒部峽谷に望んで清新な浴場と清酒な客間を設けられてゐる。附近高原一帯は冬季スキーの適地として語はれてゐる。【泉質】無色透明の炭酸泉で微かに鹹味を有し温度二百度、胃腸病、肝臓充血、リウマチスに効がある、宿泊料二圓乃至四圓程度。

生地鑛泉 富山縣下新川郡生地町

本線生地驛から十丁人車の便がある。【泉質】弱鹽類泉で胃腸、リウマチス、呼吸器病、皮膚病に効がある。【風光】蜃氣樓で名高い魚津海岸で、生地の浦の螢鳥賊漁や、海岸の白砂青松は興趣に富み、夏は海水浴に適し附近には庚申松、台場、越湖ヶ濱の散歩地がある、宿泊料は自炊制に依れば一日二十錢乃至四十錢。

小川温泉 富山縣下新川郡泊町

北陸本線泊驛から十八丁、自動車人車の便がある。【風光】親不知子不知の嶮から二里半怒濤狂ふ日本海に面し、背に日本アルプス山脈が聳え温泉は其連峰中の薬師ヶ岳の裾から湧出してゐるのを三里餘り引き湯したのである。海岸は有磯の海といつて芭蕉の「早稲の香や分け入る海は有磯の海」と吟じた處、笹川橋附近の野趣も捨て難く其の上流に逆ると七重瀧の奇勝がある。【泉質】食塩泉で無色透明、少し鹹味を有し温度泉源にて百三十七度浴槽で百十三度、引き湯としては日本一の稱がある。旅館は小川温泉株式会社直營で自炊制と旅館制との二部に分たれて宿料一泊二圓五十錢乃至七圓。茶代は廢止してゐる。

城端ラヂウム鑛泉 富山縣東礪波郡城端町

中越線城端驛から西三丁汽車の待合時間にも入浴し得る近さで人車の便がある。多量のラジウム含有の天然泉で胃腸病、リウマチスに神効があり、旅館の設備、庭園の雅致、別荘の善美共に優れて申分なく、近年附近立野ヶ原がスキーの適地として謳はれる様になつてこれ等スキー客や湯治客に歓迎せられてゐる。宿泊料二圓以上

舟見鑛泉 富山縣下新川郡舟見町

北陸線泊驛より二里三日市驛より一里黒部鐵道愛本驛より廿丁各人車、自動車の便がある。【泉質】炭酸泉と鐵泉との二種を有し前者は胃腸病、後者は脚氣、リウマチス、婦人病によい。【風光】背に翠峰を負ひ遙かに日本海を望む文字通り風光明媚の地である、旅舎は一戸のみで宿泊料二圓見當。

◎古池ヶ谷鑛泉 雨晴驛東十二丁。太田川の清流に沿ふ溪谷にあつて幽邃閑静風光甚だよく避暑避寒に適す、附近は狩獵、茸狩、海水浴等にも著名で又舊蹟に富むの地としても知らる。

◎小谷温泉 糸魚川驛東南七里アルカリ性炭酸泉、腦、胃腸、子宮病に効あり。
(梶山温泉同質)東南六里
◎根知温泉 糸魚川驛より三里人車、自動車の便がある。

神 社 佛 閣

吉崎御坊(大聖寺驛より一里十八丁) 蓮如上人駐錫布教の地で、寺は大聖寺川下流北瀉

湖畔にあつて眺望甚だ佳く「嫁脅し」肉付の面其他寺寶が多い、自動車巡航船の便ある
菅生石部神社(大聖寺町) 國幣小社にして千三百余年前の鎮座なりといふ。

多太神社(小松町) 縣社、衡杵等平略比古命を祀る、實盛の兜、義仲の願文が藏せられてある。あなむざん兜の下のきりぎりす (芭蕉)

白山比咩神社(鶴來より十丁) 國幣中社にして伊弉諾伊弉命及菊理姫を祀る加賀一の宮とも稱せられ社殿壯麗風景亦可良である。

別格官幣社尾山神社 (金澤市) 藩祖前田利家を祀る。
天徳院(金澤市) 藩主前田利常の建立した曹洞宗の古刹である。

大乘寺(金澤市) 曹洞宗永平寺派に屬し後柏原天皇の勅願所で且足利將軍の祈願所である、所藏の立山刹圖は國寶に加へられてある。

關野神社(高岡市) 伊弉諾命外二神を祀る、天歷年間の創建で毎年五月の曳山祭は有名である。

瑞龍寺(高岡市) 僧恕陽の建立で曹洞宗の名刹で其釋迦堂は國寶に加へられてある。

大岩山日石寺(滑川驛より立山線大岩口より一里) 眞言宗の名刹で本尊は縦四丈八尺、横九間、厚さ七間の大巖に刻んである高さ一丈六尺に餘る大不動明王の座像で、行基菩薩の作だといふ、稀有の傑作で國寶に指定されるだらうとの噂である、石像の傍に瀑布が

懸り之に浴すると靈驗顯著で殊に眼病に特效がありと言はれ夏季には參拜者が頗る多い
白山神社(能生驛から十丁) 奴奈川姫尊を祀る、附近に辨天岩がある、三個の巨岩が点在して風景がよい、尤も大なる岩上に嚴島神社がある。

國泰寺(島尾驛十丁) 後醍醐帝の勅願所。
氣多神社(羽咋驛) 國幣大社にして大己貴命を祀り、國寶後奈良天皇の親翰其他社寶が多い。

瀧谷妙成寺(羽咋驛) 日蓮宗妙法寺派の本山、特別保護建造物たる本堂、開山堂、五重塔及國寶が多い。

豐財院(羽咋驛) 曹洞宗の古刹で月洲和尚の血書の大般若經がある。
善徳院(城端驛) 眞宗本派城端別院

永光寺(金丸驛より三十丁) 曹洞宗永平寺派の大祖瑩山大師の開山示寂の道場にして南朝四帝の勅願所である、境内、殿堂共に壯嚴にして寺寶多く亦櫻の種類が多いので花時曳杖する者が多い。

勝興寺(伏木驛) 順徳院第三皇子の草建にかゝる古刹

安居寺(福野驛) 眞言宗の古刹

高瀬神社(福野驛) 國幣小社

瑞泉寺(福野驛) 眞宗大谷派別院

名 所 舊 蹟

那谷寺(動橋驛より東一里三丁) 僧泰澄大師の創始で境内老樹鬱蒼として、初春の椿、秋の紅葉は全山悉く紫紅綠黄の美觀を呈す、電車の便あり。

石山の石より白し秋の風 芭蕉

實盛塚(動橋驛より西北一里四丁) 俱利伽羅敗戦の平軍は湖の如くに退却して此處まで落ち延べた、齊藤別當は討死を覺悟と白髪を染めて出陣し、あはれ手塚太郎光盛に打つて取られた所。

三湖台(粟津驛) 湖畔第一の眺望と云はる、今江の三湖台は今江、木場、柴山の三湖を一眸の下に收め景勝の地で、古來戦畧上要害の地とされてゐる。

安宅の關趾(小松驛より北西一里十二丁) 安宅の關の物語りは何人の胸にも浮び起る名高い話、兄の邪推を知つて胸に押し抱きて、遙々奥州へ逃れ行く義經の心中も衷れなら、最後まで主に殉せやうとする家臣も並大抵ではない。話は謠曲安宅に。劇勸進帳に脚色されて李園花柳の地に用ひられてゐる。

兼六公園(金澤市) 日本三公園の一と稱せられ文政元年前田齊廣郷の經營で廣大、幽邃

人力、蒼古、水泉、眺望の六勝を兼有してゐるといふ所から白河樂翁公の命名である。池沼あり、瀑布あり、松林鬱蒼、花木妍麗、泉石、亭樹皆雅致に富み四時遊杖を曳くものが絶えない。

東山公園(金澤市) 兼六公園と相對し、一名向山、臥龍山といひ日本海の遠波、河北瀉

の紺碧皆一眸の中にあり。

俱利伽羅峠(俱利伽羅驛より二十八丁) 壽永二年五月廿三日丑の刻、流を盡し林を焼いて狩集め、平維盛を總師とせる平軍十万余騎も、義仲が火牛の策にもろくも惨敗した古戦場である。

高岡公園(高岡市) 前田利長郷の舊城址で老樹鬱蒼として景致に富む、園内に國幣神社射水神社がある。

櫻の馬場(高岡市) 街路兩側に老櫻樹繁茂し、陽春四月開花の候美觀云ふ可からずして北陸第一と稱せられてゐる。

太閤山(小杉驛より十四丁) 天正年間豊臣秀吉來りて佐々成政と兵を交へた古戦場である北代の梅林(吳羽驛) 廣袤一萬坪の間梅樹繁茂し初春の頃馥郁たる香氣を放つ。

五福の桃林(吳羽驛) 天保年間京阪地方から桃苗木を移植したに始まり今日の觀をなすに至つたといふ。

吳羽公園(富山市) 市の西方に崛起せる丘陵で北に北代の梅林、東に五福の桃林ありて富山市街眼下にあり立山の雄姿一眸の中に入る等眺望甚だよい。

萩の浦(東岩瀬より西北海濱) 東岩瀬、水橋間の海濱で古は萩の名所であつたといふ渚汀一帶青松白砂相連り海水浴に適してゐる、義經の鎧掛の松がある。

波除の松原(同上道路) 東岩瀬より水橋に至る海岸道路約二里の間をいふので、老松枝を交へたる其景、舞子に勝るの地、曾つて大町桂月氏をして、此地を知らざりしは吾人の

大に恥する處だと嘆せしめたといふ。

天神山(魚津驛) 片貝川の右岸にある丘陵で織田、上杉二氏の激戦地で山腹には石器時代の遺跡がある。

境關址(泊驛) 越中越後の國境、境村にある、慶長十九年大阪冬の陣に際し國境防備として前田利常の設置したものである。

上路山(市振驛より二里十八丁) 往古山姥の住んだ處で坂田金時の出生地である。

勝山城址(青海驛から二十丁) 秀吉と謙信と會見した處である。

福來口(青海驛) 黒姫山の溪谷にある、巖崖峭立の中腹に隨圓形の巨洞あり、其高さ十五間巾四間屈曲して遠く山を貫き洞に入るものは燭を点じて行く事一、二丁盛夏と雖も寒氣骨に徹し、永く居るに堪えられぬ。

岩屋堂觀音(名立驛より十六丁) 本尊は泰澄の作である、境内は岩石重疊して自然に堂宇を造り幽邃の地である。

月不見の池(梶屋敷驛より一里十丁) 老樹鬱蒼として藤蔓岩上に懸り花時池中に映じて美觀云ふべくもない。

五智如來(郷津驛から二十二丁) 行基菩薩の建立した天台宗の古刹で、大日、多寶、寶生、藥師、阿彌陀の五大佛を安置してある。

木津桃林(横山驛) 宇野氣驛から高松驛に至る間一帶は桃林にして四月中旬の花時の美觀到底筆紙の及ぶ所でない。

末森城址(敷浪驛) 前田、佐々両氏の古戰場。
 七尾城址(七尾驛) 能登古來の都城にして上杉謙信が「越山併得能州景」の詩は此城を
 陥れた時の吟なりと。
 九十九灣(七尾港和倉驛) 灣の廣袤東南二丁半、南北十二丁に過ぎざるも海岸線は約一
 里に達するを其屈曲の度は想像し得らるゝのである、灣口に日和山の展望台があ
 り、左方灣を俯瞰し右方日本海の大海原を一眸に收め得、灣の中央に蓬來島の翠微あり
 、野鶴舞ひ下るなど、以て風光を一層美化するのである。

松任 名物 圓八あんころ

北陸線松任驛販賣
 村山圓八謹製
 電話一八・一七一番

七尾 名物 松のすし

七尾線七尾驛前
 石川縣七尾町府中町 電話五三番
 南 善 藏

狩 獵 案 内

- ◎大聖寺驛 東南二里二十五丁の山中温泉
 附近(雉)北一里半の北瀉畔(鴨)
- ◎動橋驛 西廿五丁の柴山瀉(鴨、鶴)西一
 里半の片野の大池(鴨)南三十丁より一里
 卅丁の河南、分校附近(雉、山鳥)
- ◎小松驛 西南一里半今江瀉畔(鴨)
- ◎津幡驛 西十五丁河北瀉湖畔(鴨、鴨)
- ◎俱利伽羅驛 東南北五丁俱利伽羅村附近
 一帯(雉)東南北五丁乃至三里(兔)
- ◎石動驛 東北十五丁小撫村田川及小矢部
 川一帯(雉)東北一里半俱利伽羅源氏ヶ峰
 附近及南谷村安樂寺砂山附近(鶉)
- ◎福岡驛 西北十丁の小矢部河畔(鴨)西六
 丁五位村附近(雉、山雞)
- ◎越中大門驛 東九丁庄川雄神橋附近(鶉)
- ◎小杉驛 東南一里半金山村淨土寺及青井

- 谷村(山雞)東南一里金山村平野(雉)東南
 一里十五丁金山村(兔)東南一里橋下條村
 (鴨)
- ◎富山驛 富山鐵道大澤野驛より五丁(雉)
- ◎東岩瀬驛 驛の東方約五丁より三十丁の
 附近(鴨)
- ◎水橋驛 東十丁白岩川附近(雉)西約十丁
 常願寺川附近(雉、鴨)
- ◎魚津驛 南一里西布施村一帯、東南一
 里十丁上野方村大海寺新及石垣(雉)南
 二里下中島村字宮津より松倉村に至る
 一帯、南二里東布施村一帯(山雞、兔)
- ◎生地驛 十丁内外黒部川下流附近、生
 地町附近海岸水田一帯(鴨)
- ◎親不知驛 南方一里以内一帯(雉、山雞)
- ◎能生驛 南一里能生谷村大平寺附近、

- 東二十丁小泊附近(雉、山雉)
- ◎筒石驛 驛附近磯部村一帯(雉、兔)
- ◎名立驛 驛附近一帯。東南約二里以内(雉山鳥、兔)
- ◎谷濱驛 驛の西南約一里半以内(雉、山雞)
- ◎宇野氣驛 驛附近及東十八丁の宇野氣村字森、山田附近(兔)林野海岸一帯(雉)秋濱、遠塚(鶉)
- ◎寶達驛 西十一丁末森村海岸(雉)東二里寶達山(鶉)
- ◎千路驛 八丁邑知潟畔東西二里及眉犬山溜池(鴨、鴨)眉犬山(雉)
- ◎徳田驛 東北十丁種畜場跡附近(兔)
- ◎大聖寺驛 大聖寺川(鮎)、北潟(鱒、鮎、鰻)
- ◎動橋驛 柴山瀉(鮎、鱒、鰻)
- ◎美川驛 手取川(鮎、アマゴ)

釣遊地

- ◎和倉驛 端村及田鶴濱村一帯(雉、山鳥、鴨)
- ◎油田驛 東南約二里半安川山(雉、兔)
- ◎福光驛 立野ヶ原(雉、鴨、兔)廣瀬館村(雉)西太美村(雉、鴨、兔)西野尻村(鴨、兔)驛附近一帯(兔、鶉)
- ◎城端驛 西約十二丁立野ヶ原(雉、兔)
- ◎雨晴驛 西北五丁太田村一帯(雉、兔、鴨)
- ◎島尾驛 西南二里四方太田山、乱橋山、島尾山(雉、山雞)
- ◎氷見驛 十二町村餘川八代村灘浦(雉、山雞、兔)十二町潟加納堤(鴨)
- ◎泊驛 驛附近及小川下流(鴨)
- ◎金澤驛 犀川(鮎)淺野川(うぐい)犀川上流(アマゴ、うぐい)
- ◎森本津幡驛 河北潟(鮎、鮎、鱒、鰻)

- ◎石動驛 小矢部川(鮎)
- ◎越中大門驛 庄川(鮎)
- ◎富山驛 神通川(鮎、蛙、鱒)

登山案内

- ◎白山 北陸本線西金澤驛より石川鐵道【電車】にて鶴來に出で更に金名鐵道に依つて白山下に至り、夫れより自動車にて白山温泉に至る、こゝより頂上まで二里半、峰頭五つに岐れ、別山の頂には御花島と稱する高原ありて黒百合、野鳳仙花等の高山植物乱開し、雷鳥の翔翔する熊珍らし、八、一〇〇尺の處に行者堂あり、絶頂八、八六七尺本堂に詣すれば加越能飛の諸州眼下に在りて其眺望の雄大真に宇宙の大觀なり。
- ◎立山 富山驛より南富山に出で、富山縣營鐵道千垣驛に至り藤橋を経て室堂に至るもの及滑川驛より立山鐵道立山驛にて富山縣營鐵道に乗かへ千垣驛に至るもの、二方法あり、九、八七六尺手力雄命を祀る雄山神社劍岳の頂上にあり、別山、劍山、淨土山の三峯に岐れ彌陀ヶ原は面積三平方里、世界的スキ場として名高き彼の瑞西「サンモリツウ」スキ―場に譲らずと稱せられ、直下一、三五〇尺の稱名瀧、高山氣象觀側所、熱氣常に噴出する地獄谷、立山温泉等見る場所多數あり、眺望雄大、信越濃飛其他日本中部のあらゆる高峯を見、天涯遙かに富嶽を仰ぐ様、日光の大觀等實に言語に絶するものあり
- ◎大蓮華山 北陸本線糸魚川驛より十二里半、途中根小屋迄は【二里半】自動車の便あり

- ◎三口市驛 黒部川(鮎)
- ◎生地驛 境川(鮎、鱒、蛙)小川(鮎)
- ◎泊驛 邑知潟(鮎、鱒、鰻)
- ◎千路驛 邑知潟(鮎、鱒、鰻)

日本北アルプス中の峻峯で九、六七五尺、信州方面にては白馬山と稱す、高山植物の豊富なること本邦産の九十パーセントを占む、年中雪溪の存在を以て喧傳さる。

公衆電報取扱驛

大聖寺、動橋、粟津、小松、金澤、津幡、高岡、富山、東岩瀬、水橋、滑川、魚津、市振、親不知、糸魚川、郷津、寶達、七尾、氷見。

乗合自動車案内

大聖寺驛 古崎行片道六十錢往復一圓。
 橋立行片道五十錢往復八十錢。驛、大聖寺間一台金貸切一圓但料亭行六十錢。
 動橋驛 驛、片山津温泉間四十錢。
 粟津驛 驛、粟津温泉間四十錢。
 小松驛 驛、安宅町間三十錢貸切二圓半(八人乗)
 美川驛 驛、辰ノ口温泉間四十錢。
 金澤驛 市内一圓五十錢供待料三十分毎に五十錢、中石引町湯涌温泉間片道一圓。

白銀町金石電鐵間三錢。白銀町金石間二十錢。野町鶴來間五十錢。
 石動驛 出町行五十錢。
 魚津驛 魚津町行二十錢。
 生地驛 生地町行二十錢。
 三日市驛 驛より三日市間拾錢、下立口舟見町間三十錢。
 泊驛 小川温泉行三拾錢、(壹圓半)。小川温泉元湯行壹圓。(五圓)舟見鑛泉行五拾錢、(四圓)但()は貸切六人乗

青海驛 糸魚川行拾八錢。
 糸魚川驛 平岩、山口、根小屋根知温泉各線共一里につき金參拾錢。
 梶屋敷驛 新町行三十五錢。越川原行六拾五錢。土塩行九拾五錢、貸切一里二圓半
 能生驛 半行五拾錢。横行六拾五錢。溝

名物及立賣案内

あんころ 動橋、松任、金澤、津幡、高岡、富山、東岩瀬、泊、糸魚川各驛(附は名物)
 辨當 金澤、高岡、富山、糸魚川各驛
 壽し 金澤、高岡、富山、糸魚川、七尾

右の中動橋、松任、津幡、東岩瀬、泊各驛のあんころ餅は名物として何れも床しい傳説に因んだもので味もよく、亦富山の鮎壽し、七尾の松の壽し、金澤の牛乳、石動の薄氷、高岡のおやしき等は其材料の生鮮調理の塩梅等は勿論其土地獨特の名物として推賞するに足るものである。

尾行七拾五錢。須川行八拾五錢。
 新湊驛 四十物町行二拾錢。
 敷浪驛 子浦行四拾錢。
 七尾驛 棧橋行(汽船連絡)拾錢。
 和倉驛 和倉温泉行二拾錢。貸切壹圓半
 氷見驛 宇波行四拾錢。久米行五拾錢。

各驛(印名物)
 牛乳 金澤、高岡、富山、糸魚川各驛
 其他煙草新聞雜誌飲料酒菓子等 大聖寺、動橋、小松、金澤、津幡、石動、高岡、富山、糸魚川、七尾各驛。

311
128

高岡

名物

おやき

和洋酒、清涼飲料水
牛乳、煙草、果物、
新聞

高岡驛販賣

大瀧商店

津幡

名物

びきあんころ

津幡驛販賣

庭田商店

大正十五年十月二十日印刷

大正十五年十月二十八日發行

金澤市島田町七十八番地

著作兼 發行者 富澤藤太郎

金澤市穴水町二番丁一番地

印刷者 本郷金次郎

金澤市島田町七十八番地

發行所 鐵道評論社

不許
複製

終

